

情報モラカッパ通信 No.7

金石中学校PTA・平成28・29年度研究テーマ

親子で学ぶ情報モラル

①12月2日(金)19:30～「情報モラル講座&意見交換会」を開催しました。参加者19名。

講師に、啓発冊子『親子のホッとネット大作戦』を作成された、石川県教育委員会事務局生涯学習課のご担当者をお迎えし、「知って安心！ネット利用の危険と対策～うちの子は大丈夫？ 最初に気づくのは家族です～」と題して行いました。

内容は、保護者アンケート結果の報告（15分）→情報モラル講座（40分）→4班に分かれて意見交換（20分）。全体として、それぞれが思っていることを楽に言い合える、なごやかな雰囲気の中で活発な話し合いができました。

< 出欠票のアンケート結果 >

アンケート実施日 11月16日～11月22日
 サンプル数 296人 / 430人（全生徒の延べ保護者人数）
 （回収率69%）

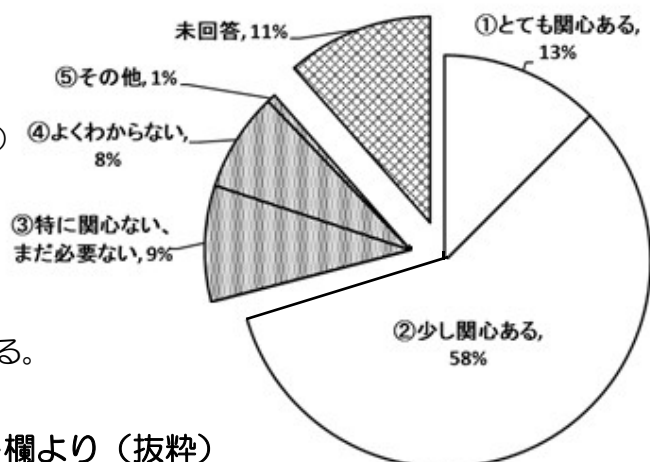
Q：今回のテーマ「情報モラル」を、どう思いますか？

☆ 関心ある・・・71%

☆ 関心ない・・・18%

（まだ必要ない、わからない、その他含む）

⇒今回の参加者19名の人数について、多い少ないは何とも言えませんが、「情報モラル」というテーマには、多くの保護者が関心を持っているといえる。



Q：講師やPTAへの質問等のコメント欄より（抜粋）

- ・ネットにはまっている子を、どうやって別のものに向かわせたらよいか？
ネット以外の世界に興味をもつには、どうしたらよいか？
- ・スマホ等を持たせている親と持たせてない親で、考え方などぜんぜん違って話が合わない。
- ・何度言ってもルールを守れない子どもや、持っていないと話に入れないと言ってくる子どもに、どう対応したらよいか教えてほしい。
- ・関心はあるが、今まで何度も聞いてきたので、あらためて聞く必要があるのか疑問に感じる。

⇒「情報モラル」という言葉に反応はするが、大事だと分かっているけどどうしたら良いのか、各家庭の実際問題として、多くの保護者がその取組みに困惑し苦慮していると感じられる。

②講座内容「ネット利用の危険と対策について」

(1) ネット利用に潜む危険性について

- 1 個人情報の保護する（特定、炎上、将来への影響）
- 2 ネットマナー（ネットいじめ）
- 3 ネットで知り合った人と会わない（性被害）
- 4 依存
- 5 その他危険（高額請求、架空請求等）
 - ※ データ資料、最近の事件・事例の紹介（新聞記事）、
 - ※ 犯罪の種類や与えられる罰について
 - ※ 予防や対策等について



情報モラカッパ

(2) 子どもを守るためにできることについて

- 1 ネットマナー（当たり前のことを教える、大人として見せる）
- 2 フィルタリング（「命を守るフィルタリング」「親子関係＝パスワードの管理」）
- 3 ルールづくり（まずはお子さんの利用実態、家庭に応じたルールづくり）
- 4 見守り（日頃のコミュニケーション、ルールの見直し）
 - ※ 日頃の家庭内のコミュニケーションの大切さ（家庭内ルールにおける子供と親の認識のずれ、命を守るために伝えるべきことを真剣に伝えているか）
 - ※ 親のインターネット利用について（お手本となっているか）
 - ※ 保護者同士の連携の必要性

- 講座に先立って、保護者アンケート結果の報告を行った。生徒の90%以上がネット利用できる環境にあること、スマホ等の所持の有無にかかわらず、子どもは友だち関係の中でお互いに影響されあっていることを伝えた。
- 講座は、啓発冊子『親子のホッとネット大作戦』の内容に準じて話された。ネット利用には楽しさ、便利さがある。それを踏まえた上の危険性として、具体的なトラブル事例と対処方法を、最近話題になったニュースや事件を題材にお話しいただいた。
親子の間でも、「情報モラル」に関する新聞やニュースを積極的に話題にしていくことが意識向上につながると強調されていた。
- 子どもがネットにはまる心理的背景には、家庭内のさみしさ（親子間の距離・時間）を紛らわしているという一面もある。親子コミュニケーションの充実、具体的には、親子の会話を大切にしてほしいと何度も話されていた。
- 最後に、今すぐできる取組みとして、次のことを確実に実践してほしいとまとめられた。

①フィルタリングの設定

⇒ フィルタリングを設定するだけで、有害サイト悪徳サイトへのアクセス、不正アプリのダウンロードや実行を防いでくれるので、まずはフィルタリングを徹底してほしい。

②家庭内のルール作り

⇒ ネット使用に関するトラブルの実情を知ったうえで、親子で一緒に、犯罪被害に遭わない、加害者にならないためのルール作りを考えてほしい。

③意見交換会「親子の会話の大切さを再認識」

- 短時間の間にそれぞれの立場におけるいろんな意見が出ました。班ごとの内容発表はできませんでしたが、どの班もにぎやかに盛り上がっていました。子どものネット利用に関して、誰もが身近に心配や戸惑いを感じていることを共有できた。
- 親子の信頼関係の見直しや、学校や地域とのつながりの大切さ、本当のコミュニケーションの大切さについて考える良い機会になった。「情報モラル」は、子どもだけでなく、その親やまわりの大人も抱えている問題であり、親子で共に学び、一緒にスマホやネットの使い方を話し合うことが大事だという意見も共有された。
- 参加者アンケートには、ネットに潜む危険性(ネットいじめや情報流出など)について、再認識したとの内容が多くあった。また、他の家庭のいろいろな話を聞いて参考になったなど、講座、意見交換会ともに、多くの好意的な感想をいただいた。

◆参加者アンケートより抜粋（特に印象に残った話など）

(1) ネット利用に潜む危険性について

- ・石川県や金沢市など、地元で実際に起こった事例、それも最近の事例をたくさん聞いて、ネット問題をほんとに身近な問題だと感じられた。
- ・ネット被害にあった人の95%はフィルタリングをかけていなかった話が印象に残った。
- ・女子になりすまして、SNSで知り合って、わいせつな自画撮りを送らせようとする話。そんな自画撮り被害の多いことにびっくりしました。
- ・不適切な画像投稿が、進学・就職・結婚など、子どもの将来に多大な悪影響を及ぼしていくとの話。取り返しのつかない失敗になっていくことに恐くなった。
- ・バカッター（バカな犯罪行為などをTwitterで晒してしまう人）の具体的な投稿写真を見せられて、ニュース等で知っていても、あらためてドン引きした。。
- ・ネット依存による健康被害の話。我が子が動画視聴に依存していると感じ心配になった。
- ・ネット依存の若者10代対象に離島でネット絶ちという活動の話が印象に残った。
- ・親の知らないところで、子どもが友だちや外部からスマホ等を受け取れる方法がある。その話に驚いた。

(2) 子供を守るためにできることについて

- ・親子の会話が大切だとあらためて思った。結局、生の人間関係の問題なのだと思う。
- ・愛をもって子どもに接する、子どもを守るために出来る事をする、とても大事だと思う。
- ・何のためにフィルタリングするかについて、「子どもの命を守るため」という講師の言葉が、強く印象に残った。ネット問題は、状況によって、子どもの命の問題に関わってくる。
- ・子どもたちは、親の使い方をよく見ていて真似すると言われて、なるほどと思った。
- ・親も子ども情報機器の使いすぎを控える。これからは、ネットの利用時間を完全に決めたい。
- ・学校全体で夜10時以降の通信を全員がやめるといったルールを決められたらいいと思う。
- ・親も使い方を考えないといけないと思った。帰ったら、子どもにもここで聞いた話を伝えたいと思う。

- ・ルール作りだけでなく、親子で同じルールに取り組むこと、親子のコミュニケーションの大切さをあらためて思った。
- ・保護者間の口コミで、ネット問題による具体的な被害状況（賠償金等）などが広まると、もっと危機感が高まっていくのではないかな。
- ・ネット以外に楽しいことを見つけることが大切。簡単に答えはでないが考えていきたい。
- ・子どもより親の方が、ネットの使用スキルが低い事もある。親が具体的な機器の使い方や設定方法などを学べる機会があると助かる。

(3) 講座&意見交換会のあり方について

- ・出席してみて他の家庭の色々な意見を聞いて有意義だった。
- ・意見交換会で、他の親の持っている具体的な問題を聞いて非常に良かったです。
- ・小グループの座談会だったので話に参加しやすく、参考になりました。
- ・講座も座談会ももっと時間があれば良かった。意見交換の時間が少し短いと感じた。もう少し情報を得たかった。
- ・参考になったが、知っている内容が多かった。
- ・同じような講座で何度も同じ話を聞くこともあるが、その時の参加メンバーの雰囲気、話の流れによって、知らない事例や、新鮮な思いで聞けることもある。
- ・ネット利用の被害や話題を気にしているが、今回のようにまとめて情報提供があるとありがたい。
- ・開始時間帯がこの時間（19:30 開始）だと、仕事していても参加しやすい。
- ・子どもと親と一緒に参加できる講座もあったら良いと思った。



情報モラカッパ

④提案

「情報モラル」教育は、子どもへの監視・管理の強化ではありません！

子どもを信頼して任せていることが、放任になっていないか？！

今、子どものまわりで何が起きているのか？！

そのことに目を向ける、大きなきっかけとなる取組みです。

今回の「情報モラル」講座&意見交換会の結果が、模範解答として終わるのではなく、それぞれの家庭において今、起きている悩みや問題をみんなで共有し、その問題と自分との関わり方を振り返り、危機感をもって考えていける、そんなきっかけになればと願います。これまでの学びを踏まえて、あらためて、下記の提言をします。

☆PTA 実行委員会からの提言

- 全家庭でフィルタリングをかけましょう。（外部からの被害にあわないために）
- 全家庭でルールを決め、明文化しましょう。（生活のリズムを崩さないために）

これまで配信した内容は、金石中学校HP「PTAのページ」で確認できます

以上